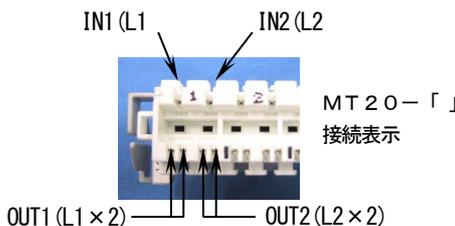


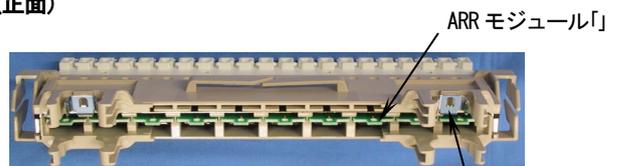
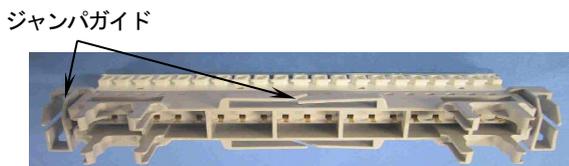
MT20端子板シリーズ 取扱説明書

1. 構成 (MT20-「」)

- ・ MT20-TB1 : 接続端子板
- ・ MT20-TBM : モニタ端子板
- ・ MT20-TS1 : 切分け端子板
- ・ MT20-AR1 : アレスタ端子板



MT20-「」 (正面)



AR1 (裏面)



「矢印をセツダンガワ」(TS 側) に向けて線を押し込んで下さい。
(余分な線はニツパ等を使用してカット)

 結線工具にUCT-B コウグを使用すると、端子板が破損する恐れがありますので、ご注意ください。

2. 手順

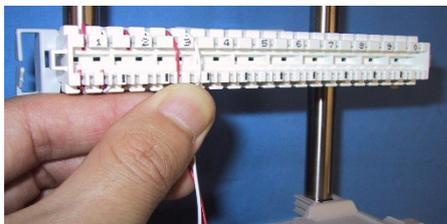
2-1 ケーブル側とジャンパ側の結線

- ・ MT20-「」をマウントまたはプロファイルに取り付けた後、ケーブル心線を成端クリートに通し、Uスリット溝に仮止めします。
- ・ 結線工具 (UCT-A コウグ) のカッターをTS側に向け、Uスリット溝に水平垂直に結線工具から押し切り音が聞こえるまで押し込みます。
- ・ 接続と同時に心線はカットされますので、カットされた心線は取り除いて下さい。尚、ジャンパ側も同様に行ってください。

注1 : 適用線材径 : $\phi 0.4\text{mm} \sim \phi 0.65\text{mm}$ (結線工具適用線材 : $\phi 0.4\text{mm} \sim \phi 0.5\text{mm}$)
結線工具で $\phi 0.65$ をカットするとカッターの摩耗が早まりますので、カットはニツパなどで行うことを推奨いたします。
指定以外の結線工具は端子板が破損する恐れがありますので、ご使用にならないで下さい。

注2 : ジャンパ側のUスリット端子は、1端子に2スリット設けており、マルチ接続が可能です。
ただし、ジャンパ線は1スリットに1本の接続に限ります。

注3 : 結線前にケーブル心線またはジャンパ線に十分な余長をお取り下さい。(注5 参照)
ARRモジュール「」交換時、または作業スペースの確保、特に複数列の設置時に必要となります。



Uスリット溝に仮止め



結線と同時にカット

 水平垂直に押し込む

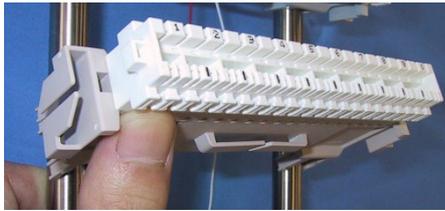
2-2 心線の取り外し

- ・ 結線工具の後面に装着してあるフックを使用し、心線を手前に引き抜きます。



2-3 MT20-「」の取り外し

- ・プロファイルの場合：MT20-「」の下から、指で押し上げながら片側ずつ外して下さい。



- ・マウントの場合：はじめにハズシ工具を左右のジャンパガイド下部に、ジャンパ線を挟み込まないように差し込みます。このとき、引っ掛け爪がある面を外向きにします。ハズシ工具の先端を内側に倒し、ジャンパガイドを外側に開きながら、垂直に引き抜いて下さい。



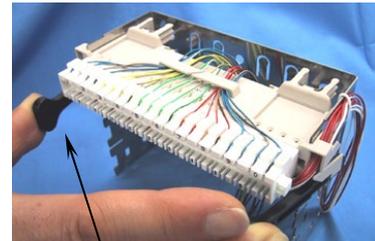
引っ掛け爪



マウントの場合

ジャンパガイド

引っ掛け爪面



内側に倒す

2-4 ARRモジュール「」の交換 (MT20-AR1)

- ・プロファイルの場合：MT20-「」の片側を外し回転させます。
- ・マウントの場合：MT20-「」を取り外し裏面側を向けます。その後、結線工具のフックをARRモジュール「」の穴にかけ、引き抜きます。取り付ける場合は、ガイドに沿ってARRモジュール「」を挿入し、突き当たるまで押し込みます。

注4：ARRモジュール「」を取り付ける際、アレスタ側を下向きにして挿入して下さい。

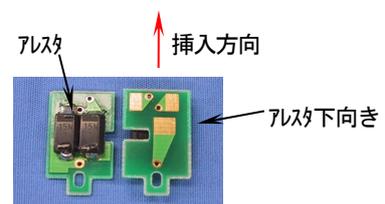
注5：ケーブル余長が不十分または不適切ですと、モジュールを回転または裏返せない場合があります。



プロファイルの場合



マウントの場合



ARRモジュール「

アレスタ下向き

2-5 アースの取り付け (MT20-AR1) [取付例]



プロファイルの場合



マウントの場合

アース線はA種接地工事の地気端子に接続して下さい。

3. オプション

①断線片 (MT20-TS1, AR1 に適用)



②試験プラグ (MT20-TS1, AR1 に適用)



IN1 : 赤色
IN2 : 白色
OUT1 : 青色
OUT2 : 黄色

③モニタプラグ (MT20-TBM, TS1, AR1 に適用)



IN1, OUT1 : 白色
IN1, OUT1 : 赤色

＜お問い合わせ先＞
東京通信機工業株式会社
本社 営業グループ
〒108-0074 東京都港区高輪3-8-14
TEL:03-3447-2421 FAX:03-3447-0426
MAIL:sales@totsuki.co.jp